

A 案内は届いているか

標準 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答えは認めます。別解は許容する内容の例です。

問1 母集団と回答者

答え ウ

解説 回答者120人の回答である。抽選していても、全校360人の実数ではない。

問2 複数回答 解答例40字

解答例 一人が使った複数の方法をすべて答え、その生徒が方法ごとに重複して数えられるから。

解説 人数の合計206は利用方法ごとの延べ数。206人が回答したわけではない。

別解・許容 「紙と電子の両方を使った人などが、それぞれに含まれるから」も可。

採点の目安 複数選択可能／同一人が複数の項目に含まれる、の二要素。

問3 差の読み取り

答え 6人

解説 $82 - 76 = 6$ 。「6人だけが紙を使った」という意味ではない。

採点の目安 数値6と単位「人」を確認。

問4 重なるの不明

答え イ

解説 組み合わせの記録がないため、76人のうち電子のみの人数は分からない。

A 案内は届いているか

標準 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

問5 情報の更新 解答例55字

解答例 紙と電子配信を併用しても、どの案内が最新かを確かめられ、変更前の会場などの古い情報と混同しないようにするため。

解説 ③の混乱と、資料二の会場変更を関連付ける。

別解・許容 具体例として会場を挙げなくても、古い案内と新しい案内を区別できることが明確なら可。

採点の目安 併用する案内の新旧の識別／古い情報との混同を防ぐ、を確認。

問6 案内の実行

答え エ

解説 会場だけ変更。日時は同じで、再申込も不要。

問7 主張の根拠 解答例64字

解答例 紙を使った人が最多でも全員ではなく、電子配信だけを使った人の人数も分からないため、紙だけで必要な相手に届くとは判断できないから。

解説 最多と全員を区別し、項目間の重なりが不明である点を残す。

別解・許容 「紙を使わない回答者にも電子で届いている可能性がある」も可。

採点の目安 最多は全員ではない／利用の組み合わせが不明／紙のみで届く保証がない、を確認。

問8 追加調査の提案 解答例61字

解答例 今の表では方法の重なりが分からないので、使った方法の組み合わせを個人ごとに確かめ、紙や電子配信を使えなかった理由も尋ねる。

解説 決定したいことに対し、集計だけでは見えない排除される人や利用障壁を確認する。

別解・許容 「一つの方法がなくなると確認できなくなるか」を、利用できない理由と併せて尋ねてもよい。

採点の目安 組み合わせ・代替可能性・利用障壁などのうち、判断に必要な不足と質問内容が対応すれば正答。例えば、紙か電子を廃止すると確認できなくなるかと、その理由を尋ねる提案も十分とする。

B 定員のある体験会

標準から応用 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答えは認めます。別解は許容する内容の例です。

問1 時点を区別

答え イ

解説 申込終了時点の集計であり、参加確定者数でも当日の出席者数でもない。

問2 条件の適用

答え 陶芸

解説 72人が定員60人を超えている。木工36、染め物42は定員以内。

採点の目安 「陶芸」のみを正答とする。

問3 数値の限定

答え 12人

解説 $72 - 60 = 12$ 。これは抽選時点の人数であり、他講座への変更人数ではない。

採点の目安 12人。

問4 全体と内訳 解答例54字

解答例 道具や講師の人数は講座ごとに決まり、他講座の空席を移せないため、陶芸の申し込みが定員を超える問題は残るから。

解説 合計の差30ではなく、講座別の受入制約に戻る。

別解・許容 「全体に余裕があっても、陶芸の受入数は増えないから」という説明も可。

採点の目安 講座ごとの制約／空席を移せない／陶芸が超過、の三要素。

B 定員のある体験会

標準から応用 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

問5 条件間の関係

答え ウ

解説 同時刻開催かつ一人一講座なので、二講座には参加できない。

問6 主張の過剰 解答例65字

解答例 表には同じ日時に一つだけ選んだ結果しかなく、第二希望や申し込みなかった人の希望が分からないのに、地域での必要性まで否定している点。

解説 選択制と調査対象の範囲から、言えることを限定する。

別解・許容 木工36人・染め物42人の申込がある点を補ってもよい。

採点の目安 一人一選択／第二希望・未申込者の希望が不明／必要性全体の否定は飛躍、を確認。

問7 未確定の結果 解答例49字

解答例 講座の変更は本人の希望によるため、希望を尋ねて参加確認が終わるまでは、移る人数を確定できないから。

解説 空席があることと、本人が移りたいことは別である。

別解・許容 「木工を希望するとは限らないため」でも、本人の希望確認への言及があれば可。

採点の目安 本人の希望による／変更人数は未確認、の二要素。

問8 資料に基づく推敲 解答例70字

解答例 申し込みは150人で、定員を超えた陶芸は抽選する。空席のある講座への変更は本人の希望を確認してから決め、次の講座構成はまだ決まっていない。

解説 申込と参加確定、現状の集計と次回の方針を混同しないように直す。

別解・許容 数字を漢数字にしても同じ内容なら可。

採点の目安 150人は申込数／陶芸の抽選／変更の条件／次回は未決定、を確認。

C 日陰を比べる調査

発展 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答えは認めます。別解は許容する内容の例です。

問1 割合

答え 60%

解説 $30 \div 50 \times 100 = 60$ 。分母は両日の合計130ではない。

採点の目安 60%。

問2 割合

答え 45%

解説 $36 \div 80 \times 100 = 45$ 。いずれも割り切れ、丸めは不要。

採点の目安 45%。

問3 複数指標 解答例47字

解答例 日陰側の人数は30人から36人へ増えたが、回答者中の割合は60%から45%へ下がっているから。

解説 回答者全体の増加が大きいため、実数と割合の動きが異なる。

別解・許容 漢数字表記や「15ポイント低下」を用いてもよい。

採点の目安 30→36人／60→45%、の双方を正しく示す。割合の差は15ポイントであり「15%減」と同一ではない。

問4 因果を限定

答え エ

解説 気温以外の条件も違い得る。二つの変化の併存を原因の証明としない。

C 日陰を比べる調査

発展 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

問5 対象と意味 解答例70字

解答例 45%は回答に協力した80人についての割合で、全利用者の割合ではなく、実際に日陰側へ座った結果であって、座りたかった希望を示すものでもない。

解説 標本を母集団に、実行された行動を希望に、そのまま置き換えている。

別解・許容 「回答者だけの実際の利用結果」とまとめても、二つの混同が分かれば可。

採点の目安 協力した回答者と全利用者の区別／実際の利用と希望の区別、を確認。

問6 追加調査 解答例55字

解答例 利用した場所が希望した場所とは限らないので、席が空いていないなど、希望どおりに選べなかった条件を確かめるため。

解説 行動の集計だけでは見えない制約を把握する。

別解・許容 席の空きは例であり、ほかの本文に反しない制約を挙げてもよい。

採点の目安 希望と利用の不一致の可能性／選べなかった条件の把握、の二要素。

問7 資料の限界

答え ア

解説 二日間は別集計。個人を追跡していない。

問8 適切な結論 解答例73字

解答例 今回の回答者では、日陰側の人数は増えたが割合は下がった。気温との因果関係や希望どおりに座れたかは不明で、来園者の条件や席の空きも調べる必要がある。

解説 観測した変化は明記し、原因や希望は未確認として扱う。

別解・許容 調査の日時・回答者に限定していることが伝わる表現を認める。

採点の目安 対象の限定／人数と割合の変化／原因は未確定／希望と利用条件の追加確認、を確認。

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答案は認めます。別解は許容する内容の例です。

問1 対象の限定〔8点〕

答え イ

解説 送付対象240人の半数120人が回答した。未回答者や地域全員の希望は不明。

採点の目安 正答8点。

問2 順位と割合〔8点〕

答え 40%

解説 $48 \div 120 \times 100 = 40$ 。最多だが過半数ではない。

採点の目安 40%で8点。

問3 複数条件〔10点〕

答え ア

解説 夕方は費用6000円 $\leq$ 9000円、係2人を確保。夜は費用内だが係1人不足。

採点の目安 正答10点。

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

解答・解説 つづき

問4 理由説明〔12点〕 解答例51字

解答例 追加費用9000円は予算内だが、毎日2人必要な係を夜は1人しか確保できず、人数の条件を満たさないから。

解説 予算不足が理由ではない。二条件を分けて照合する。

別解・許容 数値は漢数字でもよい。

採点の目安 予算内4点／必要2人・確保1人4点／人数条件不足4点。字数外1点減、下限0点。

問5 自由記述の役割〔14点〕

答え ウ

解説 例は実現したいことや制約の理解に役立つが、人数の比較には使えない。

採点の目安 正答14点。

問6 不明な重なり〔16点〕 解答例46字

解答例 最も来やすい時間帯を一つだけ選ぶ調査で、夜を選んだ人が夕方にも来られるかは尋ねていないから。

解説 選んだ第一候補以外の利用可能性は不明。

別解・許容 「ほかの時間帯への参加可能性を質問していない」という表現も可。

採点の目安 一つだけ選ぶ形式8点／夕方にも来られるか未調査8点。字数外1点減、下限0点。

D 展示を長く開けるには

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

解答・解説 つづき

問7 成果指標の解釈〔16点〕 解答例57字

解答例 延長時間帯の来場者には、延長によって初めて来られた人だけでなく、通常時間帯から来る時刻を変えた人も含まれ得るから。

解説 延長枠の利用と、新しい参加機会の増加は同じではない。

別解・許容 新規に来られた人と時間を移した人の区別が明確なら可。

採点の目安 新たに来られた人8点／通常時間から移った人もいる可能性8点。字数外1点減、下限0点。

問8 条件付き提案〔16点〕 解答例84字

解答例 予算と係の人数を満たす夕方を試行し、日中に来にくい人などの機会を広げる。実施後は、延長時間帯の人数だけでなく、新たに来られた人と通常時間から移った人を分けて確かめる。

解説 夕方への希望がある一方、最多の夜は係不足。実行可能性と評価の限界をまとめる。

別解・許容 「夜を選んだ人の夕方の利用可能性も追加で聞く」を、評価の注意に加えてもよい。

採点の目安 夕方案4点／予算・人数を満たす4点／参加機会を広げるねらい4点／新規の機会と時間移動の区別4点。字数外1点減、下限0点。